

安中市 議会だより



◆発行日 平成 29 年 1 月 27 日 ◆発行 安中市議会 ◆編集 安中市議会報編集委員会 ◆印刷 株式会社ヒューマンサポート



新年のごあいさつ

議長 吉岡 完司
副議長 今井 敏博

平成二十九年の新春を迎え、市民の皆様には輝かしい新春を健やかに迎えのとお慶び申し上げます。

昨年は安中市と松井田町が合併し、新安中市となり十周年という節目の年に、さまざまな記念事業が実施されました。

今、十周年を経過し、世代から世代へ、先人の意思を引き継ぎ、新しい安中市を創造することが、私達に課せられた使命と考えております。

このようなか、市議会では三つの特別委員会の中で、それぞれの諸問題や対策について、調査・研究を重ねているところであります。皆様方におかれましても、市議会に対しまして、なお一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご多幸とご繁栄を心からお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二十八年安中市議会第四回定例会は、十二月二日から十二月十五日までの十四日間の会期で開催されました。

この定例会に市長から提出された議案は、条例の一部改正や平成二十八年度補正予算など、あわせて十一件が提出されました。

また、議員提出議案として意見書案一件が提出されました。

定例会のあらまし

◇2日 〓 本会議 会期の決定、議案十一件を上程。議案を各委員会に付託。

◇6日 〓 総務文教常任委員会

◇7日 〓 福祉民生常任委員会

◇8日 〓 経済建設常任委員会

◇12日 〓 本会議 一般質問

◇13日 〓 本会議 一般質問

◇15日 〓 本会議 請願・陳情審査

報告、委員長報告、質疑、討論、採決。市長提出議案十一件を原案可決。議員提出議案一件を原案可決。閉会。

今定例会における一般質問は、12月12日と13日に行われ、12名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。

質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に掲載しています。

議会を傍聴しましょう!

次の定例市議会は、2月27日～3月17日までの予定です。



金井久男 (日本共産党安中市議員)

鳥獣害対策・移住・定住促進対策について

モンキードッグの導入について

問 二つの市町を視察し、効果的な事業だと思いが認識はどうか。

答 サルの追い払いに有効な施策の一つだと考えています。

問 警察犬訓練センターなどで四カ月ほど本格的な訓練をしているというが、訓練費用の補助はできるのではないかと。

答 訓練費用が二十七万円ほどと聞いています。対策協議会などで検討していきたい。

問 テレメトリーという設備を整備して、サルの群れの移動区域などを常時把握できる対策は。

答 現在二頭に発信機を付けています。サルを捕獲した場合は順次、準備していきます。

ペット殺害の被害実態

問 九十九地区の七軒で九頭の飼い犬がイノシシに襲撃され八頭が殺害された。異常事態として認識しているか。

答 人畜が襲われることは最も危

険なことに認識しています。

問 イノシシなどが急激に増えている。猟友会との協力でくくり罠の解禁を是非お願いしたい。

答 緊急時には、くくり罠で集中捕獲をしています。松井田猟友会と協議していきます。

移住・定住対策について

問 NPO法人「ふるさと回帰支援センター」を活用して、人口増を図るべきだがどうか。

答 空き家バンクの創設など来年度に向けて整備していきたい。



忠犬事業の立看板



櫻井 ひろ江
(日本共産党安中市議員)

太陽光発電開発のルールづくり・ 介護保険について

発電施設開発の住民への周知について

問 検討中の条例案では三千平方メートル以上を対象としているが、それ以下の所では、住民はどう知ることができているのか。条例での取り扱いはどうなのか。

答 土地の利活用は権利者の裁量と考えています。条例での根拠は、建築物でないことから開発指導要綱の建築物を伴わない場合の面積としています。

問 電気事業施設では、建物以上に配慮が必要で、住民の不安を考えると五百平方メートル以上には、届出、市との協議はさせるべきであり、環境や景観を重視する自治体では、一千平方メートル以上が多く、当市でも開発だけでなく環境や景観、災害面等も重視したものにしています。

答 小規模でも、農地法、河川法等が適用されますので、一般的

な開発との整合性を考えます。

介護保険の新しい総合事業への移行について

問 要支援の通所・訪問介護など、サービスが狭められていくのではないかと。福祉のサービスまでも介護に入るのはおかしいのではないかと。

答 住民主体の支援では、ゴミ出しや通いの場の利用などが考えられますが、ケアマネジメントが必要と判断されれば今までのサービスが受けられます。



発電施設が予定されている傾斜地



遠 間 大 和
(新公会)

人口減少について

人口減少について

問 本市の人口減少の認識を踏まえ特筆すべき対策については。

答 本市が独自に実施している施策は、まだ僅かなものにとどまっています。

問 少子化に対する認識は。

答 地域社会における社会活動の衰退、耕作放棄地や空き家の増加に伴う居住環境の悪化等が人口減少の負の連鎖を生じさせないよう、あらゆる施策を組み合わせ、取り組む必要があると考えております。

問 他の自治体と比較し本市に足りないものは何なのか。

答 買物や病院等の充実に併せ、企業誘致等で、働く場所を確保する必要があります。

問 医療費無料は今後も中学三年生まで対象に継続していくのか。

答 可能な限り継続して参りたい。

問 二〇二五年問題に対する市の対策については。

答 懸念される社会保障費を抑制するための取り組みが必要であり健康な定年前後の人の地方移住を促す「日本版CCRC」構想の検討も必要です。

問 高齢化の課題と対策は。

答 介護・医療等の社会保障費の増大等が懸念されております。

問 U・J・ターンの取り組みについては。

答 具体的な取り組みはございません。



ふるさと回帰支援センター



小林 克行
(民声クラブ)

公立碓氷病院改革について

公立碓氷病院改革について

問 コンサルタントの契約内容は。

答 プロポーザル方式により有限責任監査法人トーマツに決定しました。公立病院改革プラン策定では四十病院以上の実績があります。

問 院内保育・病児保育の設置は。

答 設置やスタッフ配置について研究します。

問 人事評価制度の内容は。

答 今年度より実施され、評価結果は来年の五月に確定予定です。待遇面については、昇給や勤勉手当に反映されます。

問 他の病院との医療材料の購入金額の比較(ベンチマーク)は。

答 自治体病院医薬品値引率調査の集計結果を参考にしています。

問 職員の意識調査の内容は。

答 「同じ方針や目線で業務を遂行出来ているか」「病院をより良くするために何が必要か」を重点に調査を行いました。



公立碓氷病院

問 選ばれる病院になるには、責任者が明確でない現在の経営形態では限界だと考える。公営企業法の全部適用は。

答 事業管理者を置き広範な権限が与えられ、機動的、弾力的な運営が可能となります。

問 独立行政法人の検討は。

答 運営責任者である理事長に更に広範な権限が与えられるが、職員の身分の変更や組織改編など全部適用以上に慎重な協議が必要です。

問 運営責任者である理事長に更に広範な権限が与えられるが、職員の身分の変更や組織改編など全部適用以上に慎重な協議が必要です。

答 必要です。



豊 次雄
(新政会)

企業誘致について

企業誘致について

問 これまでの誘致方針は。

答 雇用の場創出、財政基盤の強化が期待できる企業に情報提供をしてきました。

問 これまでの誘致実績は。

答 十年間に八社の実績となり、工業団地面積二十八ヘクタール、新規雇用三十二名です。進出企業は市内企業が進出したものです。

問 今後の企業誘致方針は。

答 今後の企業誘致方針は、積極的に取り組みます。

問 誘致企業と場所の選定は。

答 雇用創出効果のある製造業などに積極的に誘致活動を行い、候補地は、自然災害に強く、高速に近い地域を候補としたい。

問 今後の企業誘致目標は。

答 今後の五年間に誘致目標三件、新規雇用三十名、新規造成面積十八ヘクタールを目標としています。



横野平工業団地

問 企業誘致活動で体制強化を行うのか。

答 企業誘致は雇用促進、経済の活性化で非常に有効で、人口増にもなるよう全庁での取り組みが必要です。国、県とも連携し工業団地の受け皿の体制作りをしていくと共に、個人の創業、起業支援にも力を入れたい。また、現在ある市内企業の展開に対しても応援し、力を入れていきたい。



小川 剛
(清風クラブ)

有害鳥獣対応・ クレー射撃場について

これまでの対策と実績について

問 鳥獣被害も増加し、耕作放棄地や空き家、森林伐採対策等、市を先頭に住民を巻き込み、計画的な地域毎の対策を提案する事が仕事と考えるがどうか。

答 捕獲事業だけでは対応が難しく地域住民の協力や意見を仰ぎながら対応し施策に反映します。有害鳥獣対策協議会設置について

問 早期設置を要望するがどうか。

答 本年度中の設置を目指し安中市被害防止計画の見直しや拡充、捕獲・防除・追ひ払い計画の体制作りを考えています。

小中学校の鳥獣対応について

問 教育委員会の対応はどうか。

答 一部の小学校入学時に「熊よけ鈴」を配布し、出没時は農林課に情報を伝え対応しています。カワウの今後の対応について

問 上州漁業に任せきりでなく、市も対策を進め他地域と広域連携が必要だと思うがどうか。

答 捕獲は漁業組合が申請者であり対策を講じてませんが、必要な施策を近隣市町村と連携し防除対策に反映したいと考えます。

ライフル射撃場建設について

問 県実施の騒音測定結果の早期公表と地元が悩まされてきた騒音対策を市から群馬県にしっかりと伝えるべきと思うがどうか。

答 地元住民の意見を踏まえ、最善の防音対策を設計段階から県と協議し効果のある防音壁の設置を求めていきます。



サル誘導捕獲わな



之 浩 柳
(清風クラブ)

高齢者の自動車運転・ 都市間交流・地域振興・ 観光振興について

高齢者運転免許自主返納について

問 昨年と比較して今年の高齢者免許取得者数と保有率の増減は。

答 昨年の高齢者免許取得者は、一万二千二百六十八人で保有率は、二八・一％、今年は一万二千七百三十人で保有率は、二九・四％で若干増加傾向です。

問 運転に不安を感じ免許証を自主返納した高齢者の現状は。

答 昨年度は六十九人、今年度は百八人で、運転経歴証明書の発行は、昨年度が五十二人、今年度は九十三人と増加傾向です。

問 運転経歴証明書の交付手数料を負担すべきと思うが。

答 関係機関等と連携し、検討しているところです。

問 現在の公共交通が高齢者の生活支援として機能しているのか。

答 高齢者には公共交通が利用しにくい状況になっています。

問 高齢者の生活支援として、路線バスが団地、商業施設、病院

など巡回するように変更可能か。

答 既存の路線体系を根本から見直す必要があります。

問 既存の制度の中でタクシー利用券の適用範囲の拡大は。

答 免許の自主返納に限定したタクシー利用券の発行等について検討していきたいと思えます。

その他、高齢者事故防止、友好都市提携の拡充、廃校の有効活用、八風平キャンプ場の活性化について質問しました。



運転経歴証明書申請用紙



櫻井 喜久江
(無所属)

ゴミの減量化・峠の湯
道の駅について

ゴミの減量化について

問 群馬県は個人がゴミステーションに出すゴミの量が全国で一番多いが、市の対策は。

答 古紙・古着の回収、市内環境保全団体等の廃食用油回収、エコスポットでペットボトル等の回収を実施しています。

問 生ゴミを堆肥に変える処理機の補助金の周知と、ゴミ減量化の講習会の開催については。

答 市ホームページで周知を行っています。広報等で一層の周知を図ります。講習会は出前講座も実施中です。今後定期開催に向けて考慮していきます。

峠の湯について

問 リニューアルオープン後、一年が経過したが、入場者数と経営状態については。

答 入館者数は十五万二千六百六十八人、年間収益約千七十万円です。近隣住民等が以前あったシャトルバスの運行と年間チケット

を望む声への対処は。

答 現在、十人以上の団体と六十五歳以上の方四人以上についてバスを出しています。今後、市民の要望を聞き、検討します。

問 市観光大使のEmiiさんのコンサートや峠の湯周辺の絵画コンクールなどのイベントの開催については。

答 今後も来場者が楽しめる企画を検討します。

その他、道の駅設立の進捗状況について質問しました。



碓氷峠の森公園「峠の湯」



武者 葉子
(公明党)

安心して暮らせるまちづくり。
子育て世代の支援。
命の授業について

地域包括ケアシステムについて

問 住み慣れた地域で、安心して医療や介護が受けられる在宅医療の体制は。

答 安中、原市、松井田の圏域に、在宅医療関係者会議を毎月開催、地域の課題を把握、連携協力を進めています。

オレンジカフェの開催について

問 身近な所で、認知症の理解や相談の出来るオレンジカフェを実施する自治体が増えているが、市の考えは。

答 サポーターに協力していただき、サロン形式で開設を計画しています。

保育の充実について

問 育休取得時の退園措置の撤廃の考えは。

答 保育所への入・退所の不安を取り除く先進的な取り組みで、今後の参考にします。

予防接種について

問 B型肝炎ワクチンの対象外児

への助成の考えは。

答 制度の周知に努めます。

子ども食堂について

問 孤食や地域の居場所的な役割の子ども食堂へのサポートは。

答 地域づくりに繋がるよう連携し、取り組みます。

「赤ちゃん先生」プロジェクトの導入について

問 じかに赤ちゃんに触れ合うことで、命の大切さを学ぶ授業は。

答 生命の大切さを育む指導が行えるよう支援します。



赤ちゃん先生の授業風景



佐藤 貴雄
(民声クラブ)

ふるさと納税制度・
合併十周年記念事業について

ふるさと納税制度について

問 寄附金の状況と、県内他市と比較した本市の現状はどうか。

答 二十七年までの合計は三百五十万円あまりで今年度は約三百四十万円、県内三十五市町村中三十番目です。

問 本市の返礼品は。

答 市内事業者に公募し、現在は宿泊施設・ゴルフ場利用券等、十五品目です。

問 寄附金の使途は。

答 安政遠足や文化財保護、観光振興事業などと寄附者の指定による事業などです。

問 寄附者の指定による事業に、より具体的な事業を加えたり、ガバメントクラウドファンディングを行うことはどうか。

答 他市にはない特色ある施策を選択できるよう考えます。

問 広報について、特設サイトやペーパーカタログの作成は。

答 今後はPRを強化します。

合併十周年記念事業について

問 市民提案事業の概要は。

答 十三事業が終了し、総事業費は六百万円程度の見込みです。

問 事業終了後の事後検証は。

答 年度末の情報交換会において事業全般のとりまとめを行い、検証につなげます。

問 「私だけが知っている安中の魅力百選」の募集で、安中からたを作成することはできないか。

答 今回の募集ではできませんが、安中からた作成は検討します。



あんなか宿泊&ゴルフ利用券



巽 久男
(新政会)

総合体育館の利用と管理・
西毛広域幹線道路の進捗状況・
米山公園の管理改善について

体育館の利用状況について

問 総合体育館について供用開始した時期は。

答 総合体育館は市民の健康・体力の増進等を目的に、平成七年七月に設置されて以来、スポーツ活動の拠点として市内外多くの方々に利用されています。

問 総合体育館の団体利用等、利用料金の減免については。

答 総合体育館利用料の減免については、安中市スポーツセンター条例施行規則により規定されています。市及び教育委員会の主催・共催行事や体育協会主催行事等で利用する場合は減免できますが、市民大会以外で利用の場合は開催地が本市であっても市外料金を頂いています。

総合体育館の管理について

問 総合体育館アリーナについて雨漏りの状況は。

答 アリーナの雨漏りについては、以前から風雨の強い日などに複

数カ所で雨漏りすることがあり、議員ご指摘のとおり競技大会中選手が滑って転倒するという事故も発生しています。原因は屋根の構造上の問題や経年劣化によるものと思われませんが、今後は雨漏り防止のための具体的な対策を、様々な角度から検討します。

その他、西毛広域幹線道路の進捗状況、米山公園の管理改善について質問しました。



安中総合体育館



太田 進一
(朋の会)

雪害対策・
有害獣被害状況と対策について

有害獣被害状況と対策について

問 シカ、イノシシの捕獲、殺処分に係る一頭当たりの費用の増額については。

答 安中市有害鳥獣捕獲隊は、県からの補助金である捕獲奨励金と市との契約により委託料が支払われています。安中地区は、イノシシ、ニホンジカが県からの奨励金四千円委託金六千円の合計一万円となっています。

松井田地区はサルの追い払い業務もあるため奨励金で支払われる額他に、一頭当たりの上乗せではなく、出勤時間に応じた委託料が支払われており、有害鳥獣対策協議会の設立がされれば、国の補助金を受けられ費用の増額となります。

有害獣の焼却施設の建設について

問 今年度はすでにイノシシ捕獲頭数六百頭、シカ二頭と増え続ける有害獣の焼却施設の建設を検討しているのか。

答 増え続ける捕獲量や捕獲隊員の高齢化等により埋却処分も厳しい状況になっています。

焼却施設の設置は、これらに対して極めて有効な対策と考えられています。しかしながら、焼却炉の購入と維持管理費用、またその設置場所などの観点からも非常に課題も多く十分な検討が必要であると考えています。

その他雪害対策、高齢者等の安否確認について他六点について質問しました。



捕獲されたイノシシ

経済建設常任委員会行政視察報告

経済建設常任委員会は、平成二十八年五月十八日から二十日までの日程で、北海道北斗市及び小樽市の行政視察を行いました。

北斗市は、平成十八年に二町が合併して誕生し、人口約四万七千人の都市です。平成二十八年三月北海道新幹線が開業し、新函館北斗駅が誕生することで観光に力を入れることになりました。駅舎には、市が整備した観光交流センターを合築し、新駅周辺区域への企業誘致や滞在型観光に向けた取り組みを推進しています。

新函館北斗駅及び周辺地区における集客力を高める施策や、立地環境の優位性を活かした企業立地による雇用創出と地域経済の活性化や市内の魅力を結び、交流人口が広がる基盤となる公共交通を充実する施策など、本市には解決すべき課題が沢山あり、安中発展のため多いに参考になりました。小樽市は、「小樽市観光基本計

画」を策定し、小樽観光を支える担い手の多様化・観光を軸にして小樽の産業構造の改革・多様な客層に対応できる受け皿づくりの推進・「選択と集中」を軸とした観光まちづくりを目指してあります。

その中で小樽観光の質的向上を重要視することが必要と考え、その意思表示として「観光都市宣言」を行い、観光まちづくりの実現に向けて市民と行政が一体となった観光振興推進体制を確立していく取り組みを学ばせて頂きました。



小樽市での研修風景

議会運営委員会行政視察報告

議会運営委員会は、平成二十八年十月十二日から十四日までの日程で、岡山県備前市「議会運営・議会報告会について」及び広島県三次市「議会運営・議会基本条例について」行政視察を行いました。

備前市は、市議会の活動を市民に説明することにより、信頼される市議会を目指しつつ、暮らしやすいまちづくりを推進しています。市民と情報の共有、市民の意見や要望等を把握するなど、市民と直接対話する機会を図るために、報告会を開催しているとのこと。報告会実施の経緯は、平成二十二年から議会運営委員会で慎重な協議・検討を行い、平成二十五年三月に報告会に関する内規を決定し、四会場で開催しています。

報告会での意見は、要望が多く、市長等へ反映しています。今後は、市民の関心を高める、議員の資質向上などが課題であるとのこと。す。

三次市は、平成十八年に議会活性化等調査特別委員会を設置し、基本理念、活性化、情報公開などの議会改革プランを策定し調査研究を行い、平成二十二年三月に議会基本条例を制定しました。

制定後、基本条例の推進状況を検証する取組みを行っています。検証方法は、各議員が各条文において達成度を評価します。検証後の課題も多くありますが開かれた議会の実現に努力しているとのこと。



備前市役所庁舎前

議案賛否結果

今回は全議案が全員賛成で可決され、賛否の分かれた議案はなかったため、議員個人の賛否結果一覧表は省略します。

人事関係以外の議案

● 議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

国、県の人事委員会において、民間給与との格差から一般職員の勤勉手当の引き上げが勧告され、市議会議員の期末手当について、〇・一カ月引き上げるため、また、二十九年度については、六月期を二・〇五カ月、十二月期を二・二カ月とするため、条例の一部を改正するものです。

● 安中市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について

公職選挙法施行令の改正により、国会議員及び都道府県知事の選挙における選挙公営の金額の引き上げに伴い、市議会議員と市長の選

挙での選挙カーや選挙ポスターの費用について、選挙公営の金額の引き上げを行うため、条例の一部を改正するものです。

● 安中市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

● 安中市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

● 安中市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について

雇用保険法等の一部を改正する法律の公布により、六十五歳以上の者への雇用保険適用の拡大に伴う規程の整備等、条例の一部を改正するものです。



新春恒例の出初め式



市内のイルミネーション

- 字の区域の変更について
県営松義中部土地改良事業の施行に伴い、地区内の土地の区画及び形状を改めた結果、字の区域を変更する必要が生じたため、変更するものです。
- 平成二十八年度安中市一般会計補正予算（第三号）
- 平成二十八年度安中市介護保険特別会計補正予算（第三号）
- 平成二十八年度安中市下水道事業特別会計補正予算（第一号）
- 平成二十八年度安中市健康増進施設恵みの湯事業特別会計補正予算（第二号）

意見書案を可決

意見書とは、地方自治法に定められているもので、国や県などに対し、地方議会が文章で意見具申をすることができるものです。

今定例会には、一件の意見書（案）が提出され、可決されました。

《可決された意見書》

- 義務教育費国庫負担率の復元と教職員定数の改善を求める意見書

可決されました意見書は、内閣総理大臣をはじめ、国会及び関係省庁に送付しました。

請願・陳情

皆様から提出されました請願および陳情の審査結果は、次のとおりです。

《採択となったもの》

- 細野ふるさとセンター「さわやか公園」内の遊具（滑り台）修理に関する請願

次の定例会（予定）

次の定例会市議会は、二月二十七日から三月十七日までの十九日間の会期で開催される予定です。

- ◇ 2/27日 本会議 開会、議案の上程等
- ◇ 28日 本会議 施政方針、議案の上程等
- ◇ 3/14日 本会議 一般質問
- ◇ 15日 本会議 一般質問
- ◇ 17日 本会議 委員長報告、採決等、閉会



細野ふるさとセンターの遊具

編集後記

昨年はオリンピック・パラリンピックで日本選手が活躍し多くの夢と希望を与えてくれました。

二〇二〇年開催予定の東京大会では野球・ソフトボール競技が復活し新たな競技も追加され、開催が今から楽しみです。

市議会では、昨年から選挙権年齢が十八歳まで引き下げられたのを受け、子ども議会を開催しました。子どもや多くの市民が政治を身近に感じ、議会に興味をもってもらうことを目的としたものです。

本年も市民の皆様にご信頼される議会を目指し、議会の様子を分かり易く伝えられる紙面づくりに向けて努力していきます。（小川）

連絡先

安中市役所 議会事務局宛
☎382-1111 内線 1349番

編集委員

◎武者 葉子	
◎太田 進一	
金井 久男	遠間 大和
巽 久男	小林 克行
小川 剛	柳 沢 吉保